

# 小網代フリートレースコミッティ要領

レースルールに則り、公正平等を規する事  
帆走指示書をよく確認の事



2010年4月9日

小網代ヨットクラブ レース委員会

## 1. コミッティ作業分担の決定

当日の作業の分担を事前に決めておいて下さい。

[参考] ジャッジ1名、記録係1名、時計係1名、フラッグ係1~2名、(マークボート・ジャッジ1名、記録係1名他)

## 2. レース中止の判断(コミッティが判断を下す)

当日の気象状況、レース海面事情、等を判断してレーススタート及びレース中止の判断をしてください。

風速15m/s以上の風が吹いている、又は予想されるされる場合。ニュースソースは限定しない。


風浪、波浪等によりマークや本部艇が設置できない場合。

その他、レース全般に支障が生じた場合など。

判断が難しい場合はレース委員長に助言を求める事とする。

## 3. レース機材の準備と保管場所

コミッティ担当の艇はレース当日より以前に機材等の確認を行ってください。

Kマーク	 <p>フック付き おもりはテンダー乗り場の階段下に収納 ロープ付のおもり(6kg)</p> <p>保管場所:クラブハウス階段下ロッカー</p>
アウトサイドマーク	 <p>ロープ付のおもり(6kg)</p> <p>おもりはテンダー乗り場ポンツーン階段下に収納</p> <p>保管場所:クラブハウス階段下ロッカー</p>
アンカー	<p>アウトサイド用、Kマーク用 アンカー(5kg・10kg),チェーン(3m)付</p> <p>保管場所:ポンツーンテンダー乗り場階段下</p>
アンカーロープ	<p>10mm撚り ×2 (50mと30m)</p> <p>保管場所:ポンツーンテンダー乗り場階段下</p>
拡声機 レース旗 書類等	<p>拡声器、信号旗セット、マーク膨らまし用ブロー、書類(記録用紙等)</p> <p>保管場所:クラブハウス内 1F の階段下倉庫</p>
旗竿	<p>旗竿・ポール (各フラッグ掲揚用 2~3本)</p> <p>保管場所:クラブハウス内階段下ロッカー</p>

## 拡声器(音響信号)の確認

電気製品は海水に濡らさないよう大事に取り扱って下さい。テンダーで運んだりするときにビルジや海水に浸かったりしないよう注意して下さい。電池(単一×8本)が消耗していたら早めに交換して下さい。費用は当日の参加費から差し引き、レース委員会に渡すときにその旨お伝えください。事前の確認を必ず行って下さい。鳴動確認、音量チェック等。

## 時計

スタート予告信号、準備信号、スタート信号は旗(目視信号)による信号を優先しますが、レースに使用する時計はあらかじめラジオまたは電話などで正時に合わせておき出来るだけ正しい時刻にスタートさせてください。クラブハウス2Fに大型のデジタル電波時計も用意してあります。

## レース旗(フラッグセット)

レース旗は全数、ケースに入れて一括保管準備してあります。当日必要になるフラッグ確認してください。旗竿(フラッグポール)も合わせて準備確認してください。

## Kマーク(必要な場合)・アウトサイドマークの準備

アウトサイドマーク、Kマークを膨らますブローアはAC100Vです。クラブハウスのコンセント電源で膨らますのに10分程度掛かります。特にKマークは、沖合いに打つため、垂直に立てるための錘を必ず取付けてください。

## フリートレース成績(表)用紙

レース記録するための成績(表)用紙を、予備を含めて数枚準備してください。不足の場合はクラブハウス事務室にてコピーできます。筆記用具も準備確認してください。

## 4. コースの選定

コースは公示により予め予定していますが、当日の気象海象によりコミッティ担当者が決定して下さい。コースは本部艇のコース旗が優先します。予定コース変更の場合は早めにレース委員長に連絡すること。変更した場合でもコース旗は、なるべく早く掲揚し外来艇にも確認できる様にする事。

## 5. Kマークの位置(Kマークが必要なコースの場合)

亀城灯台の西南西およそ0.65マイルの位置(N35 12.1' E139° 34.3' 付近)(参考水深約17メートル)

## 6. 参加費の徴収・確認

レース参加費は当日中に集めて下さい。前回までのレースの参加費未納艇(委員長に確認)が参加してきたら、その分も徴収して下さい。当日、参加費未払いで参加した艇に対しては、フィニッシュ時に拡声器で支払いを促して下さい。KFRに初めて参加する艇が居た場合、艇名、セール番号と、レーティング取得の確認、連絡先の住所、氏名、電話番号を記録し、レース結果とともにレース委員長に報告願います。

## 7. スタートラインの設置(原則として田中丸にて、スタートゴールの本部艇とする)

漁協の田中丸(田中さん)と協議し本部艇を右に見てスタートする様にライン設定をして下さい。概ね、湾口北西付近のイワシ生けす用の白いブイ付近に本部艇を固定する予定です。

## 8. スタートのフラッグ(信号を間違えないようにお願いします…スタート時フラッグ表参照の事)

- ①JSAFエンサイン掲揚:レース終了まで降下しない。
- ②コース旗掲揚:全艇がスタートして、そのスタートライン撤収まで降下しない。
- ③KYCクラブ旗:5分前掲揚、スタート時に降下。
- ④P旗:4分前掲揚、スタート1分前に降下。

## 9. スタート時刻・フィニッシュ時刻

それぞれの帆走指示書に拠ります。通常レースは10:25予告信号・タイムリミット15:00とします。

## 10. リコール艇ありの場合

リコール艇ありは、長音一声と共にX旗を掲揚する。すべてのリコール艇がスタートラインまたはその延長線の内側に完全に復帰したら降下する。スタートラインの内側に戻らず、そのままスタートしたOCS艇に対してはフィニッシュ時に通告して下さい。(拡声器を使うとよい)

## 11. ゼネラルリコール(リコール艇全艇を確認出来ない・スタートラインを確認出来ない・本部艇の事故・等)

ゼネラルリコールは長音2声と共に第1代表旗を掲揚する。新しいスタートは第1代表旗の降下1分後を新しいスタートの5分前とする。第1代表旗の降下と共に長音1声を発する。

## 12. フィニッシュラインの設置

本部艇を右に見てフィニッシュする様にライン設定をして下さい。スタート後に風浪が上がり、本部艇でのフィニッシュライン設営が困難な場合は防波堤の延長線にてタイムを採って下さい。その際防波堤上にJSAFエンサインを掲揚して下さい。

### 13. 抗議の受付

フィニッシュ時にB旗を掲揚している艇(スターンに赤旗)があるかどうかを確認し、あればレース成績表にBと付記して下さい。フィニッシュ後抗議書が提出された場合には、これを受理した時間を記入し、レース委員長に提出して下さい。海上での口頭だけの抗議は「正式の抗議申告」とは認めません。

### 14. レース結果のとりまとめ

- ①レース結果:レース成績表の上からフィニッシュ順に記録して下さい。  
当日の気象、海象、レースの概況等のコメントは必ず記入して下さい。リコール艇は忘れずに記入して下さい。
- ②参加費:集金額の確認と未納艇の艇名確認をしてください。
- ③上記①②を纏めてレース委員長 尾山(カマクラ)にお渡し下さい。万が一不在の場合は、他のレース委員に渡して報告して下さい。

### 15. 機材の後片づけ

レースに使った機材は、次回のコミッティのためにきちんと整理してもとの位置に戻しておいてください。拡声器の電池は消耗を避けるために外しておいてください。

### 参考・Kマークおよびアンカー組立図

